

2009 年度 通常総会議案書

2009 年 6 月 24 日（水）

13 : 15～15 : 00

鯉城会館 5F サファイア
（広島市中区大手町）

広島県生活協同組合連合会

総 会 次 第

1. 開 会 挨 拶
2. 資 格 審 査
3. 議 長 選 出
4. 議事録署名人ならびに書記任命
5. 会 長 理 事 挨 拶
6. 来 賓 祝 辞 ならびに 祝 電 披 露
7. 議 事
 - 第 1 号議案 2008 年度活動報告 ならびに 決算報告承認と
剰余金処分案承認の件
 - 第 2 号議案 2009 年度活動方針 ならびに 収支予算案決定の件
 - 第 3 号議案 役員選任の件
 - 第 4 号議案 役員報酬決定の件
8. 総 会 決 議
9. 議 長 解 任
10. 閉 会 挨 拶

【第1号議案】

2008年度活動報告ならびに決算報告承認と剰余金処分案承認の件

1. 2008年度 活動の概況

●2008年度の重点課題

1. 会員生協の経営基盤強化と連帯活動を推進します。
2. 食の安全やくらしの安心にかかわる諸課題に取り組みます。
3. 平和の確立と核兵器廃絶の取り組みを推進します。
4. 大規模自然災害対策のシステムづくりに取り組みます。
5. 行政や諸団体とのネットワークを強め、安心でくらしやすい地域社会づくりに貢献します。
6. 機関運営や事務局機能の充実強化をはかります。

(1) 会員生協の経営基盤強化と連帯活動を推進します。

- ・中国製冷凍ギョーザ中毒事故や一連の食品偽装事件は購買生協を直撃し、組合員拡大や利用の面で大きく影響しました。また家計消費の伸び悩みや競争激化も重なり購買生協は一部を除き、全体として厳しい1年でした。またCSネットは、この間大局では順調に推移してきましたが、一連の食の問題等が大きく影響し、厳しい1年でした。
- ・医療生協は、医療費の負担増による診療抑制や診療報酬の引き下げなどにより引き続き厳しい状況が続いています。一方、転倒予防体操などの組合員の自主活動や支部づくりは活発化してきました。
- ・共済生協は退職者の増加や勤労者をとりまく環境変化により引き続き厳しい状況でした。
- ・住宅生協は景気後退の影響を受け厳しい状況でした。
- ・介護報酬は、2009年度3%引き上げられましたが、この間、2回にわたり大幅に引き下げられてきており、十分な改善に至るとは言えません。県連「福祉事業推進協議会」では、引き続き先駆的実践の視察研修や連携が重点課題となります。
- ・役職員、組合員リーダーの力量アップのための「リーダー研修会」を2回開催しました。いずれも参加者が多く、その後地域での活動に生かされていきました。
 - 1回(6月)・・・コープぼうさい塾「わがまち減災Mapシミュレーション」(水島重光ちばコープ理事長スタッフ災害担当)
 - 2回(1月)・・・「核兵器のない平和な世界をめざして」(秋葉忠利広島市長)
- ・初級職員研修会を開催しました(4月)。会員生協の新入職員や生協歴2～3年の職員を対象に実施しています。内容は生協の実践にもとづいた講座(座学、平和フィールドワークなど)となっており好評でした。またこの研修は、県内の各生協職員同士のよい交流の場になっています。
- ・広島県学校生協が設立60周年、広島県労済生協が設立50周年を祝いました。
- ・広島医療生協が厚生労働大臣賞を受賞しました。また生協活動に功労があった3名の役職員が広島県知事賞を受賞しました(広島中央保健生協、日立造船因島生協、生協ひろしま)。
- ・県預託金融資産制度の活用については、設備資金は1会員生協、運転資金は3会員生協が利用しました。

(2)食の安全やくらしの安心にかかわる諸課題に取り組めます。

①食の安全に取り組めます。

- ・広島県「食の安全に関する推進プラン」にもとづき食品表示ウォッチャーの取り組みを会員生協や消費者団体と連携し実施しました。また「推進プラン」の見直し3ヵ年プランづくりに参加しました。
- ・中国製冷凍ギョーザ事故に端を発した生協への信頼の揺らぎの中、広島県や消費者団体と連携し、「消費者のつどい」を開催し、「食の安全・安心」についてあらためて学習をしました(11月)。
- ・「つくってみようよ！自分の朝ごはん」(広島県、ひろしまこども夢財団主催)へ表彰団体として支援しました(10月)。



つくってみようよ！自分の朝ごはん>
広島フードフェスティバルで表彰

②消費者政策を行政や諸団体と連携し推進します。

- ・適格消費者団体・NPO法人消費者ネット広島、広島県消費者団体連絡協議会、県連の3者が連携し、消費者庁設置関連法案の成立の実現に向け、学習会の開催、県内各議会への意見書採択活動、地元選出国會議員への要請などを実施しました。
- ・2008年度第2次補正予算に盛り込まれた「地方消費者行政活性化基金」の活用について、広島県と検討を重ねてきました。

③環境保全と持続可能な地域社会形成のための活動を推進します。

- ・ひろしま地球環境フォーラム主催の学習会に参加しました。
- ・第7回ひろしま「山の日」県民の集いへ、会員生協や広島県協同組合連絡協議会と連携し参加しました(10月)。

④福祉のネットワークづくりを促進させます。

- ・県連「福祉事業推進協議会」で福祉の協同・ネットワークなど、愛知の生協(医療生協、購買生協、NPOなど)の先進の取り組みを視察しました(6月)。
- ・「協議会」内での情報交換も促進され、「第3回生協福祉学習交流会」を開催しました(3月)。
- ・「きょうされん第31回全国大会inひろしま」への広告協賛し応援しました(10月)。



<第3回福祉学習交流会>
職種別交流会の内容を
発表し合う参加者

⑤年金・医療・住まいなどの諸課題に取り組めます

- ・「後期高齢者医療制度」について理事会を中心に学習をしました。
- ・広島県生協大会(10月)において、北欧の先進事例にもとづき、福祉を軸とした社会保障制度について学びました。
- ・「住まいのセミナー」(木の香る住宅工房との連携)は10周年を迎えることになり、あらためて消費者の声にもとづき内容を企画(5回)しました。受講者の要望により住宅の耐震化についても学びました。植林や下草刈りをメインにした実体験「山のセミナー」は多くの子どもや老若男女に好評です。



<広島県生協大会>
藤田県知事より「県知事表彰」
を受け取る受賞者4名

(3)平和の確立と核兵器廃絶の取り組みを推進します。

- ・2008年度は平和市長会議が提唱している「2020ビジョン」に焦点をあてた1年でした。ピースフォーラム(5月)をスタートに市民平和行進、ピースアクションinヒロシマ、新春・平和のつどい(新春学習交流会)など開催し、いずれも参加者数は昨年を大幅に上回りました。



<市民平和行進-8/4集結>
慰霊碑に向かう行進参加者

- ・平和市長会議提唱の「都市を攻撃目標にするな(CANT)プロジェクト」署名は、広島県連からの呼びかけで全国の生協に広がりました。署名数は累計で43万筆を超えました(内、県内生協105,458筆、県外生協261,876筆、他)*2009年3月末現在。また、一般市民への世論喚起を目的に、生協ひろしまと(財)広島平和文化センターが「折りづるナイター」を開催しました(日生協協賛)。しかし、目標の100万筆には届いておらず、今後は、広島市との連携を一層促進させ、まだ取り組んでいない生協や諸団体への呼びかけが課題となります。
- ・「核兵器禁止条約の早期締結を求める請願」署名は55,607筆(昨年27,238筆)集まりました。国会請願の取り組みは被爆国日本としての責任ある態度を世界に提示することにつながる重要な署名運動です。



＜新春・平和のつどい＞
講演中の秋葉広島市長



＜虹のひろば＞
「子ども・平和の絵」コーナー

(4)大規模自然災害対策のシステムづくりに取り組みます。

- ・大規模自然災害対策学習会、コープぼうさい塾(「わがまち減災Mapシミュレーション」)を開催しました(2月、6月)。広島県や広島市からも多くの参加があり、意義ある企画となりました。また、この企画が会員生協への広がり、地域の自主防災会との連携も進みつつあります。
- ・広域連携では、中四国管内生協が参加する図上演習が2回開催され(岡山、高知)、県連「災害対策検討会」を中心に参加しました。
- ・広島県との災害時における緊急物資協定の見直しについては、次年度の課題となりました。



＜コープぼうさい塾＞
生協メンバー・行政担当者が
一緒にシミュレーション体験

(5)行政や諸団体とのネットワークを強め、安心してしやすい地域社会づくりに貢献します。

①行政との関係では

- ・2009年度広島県行政へ消費者行政の改善や予算などについて要請しました(8月)。
- ・第24回中四国生協・行政合同会議に参加しました(9月)。
- ・広島県防災会議、三次市防災会議主催の「平成20年度総合防災訓練」に生協ひろしまと連携し参加しました(10月、三次市)。
- ・「後期高齢者医療制度」について県連「福祉事業推進協議会」と広島県との意見交換会を開催しました(12月)

県連が参加する審議会・協議会など(広島県関係を中心に)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| ・広島県環境審議会(1) | ・広島県県営住宅管理審議会(1) |
| ・広島県消費生活審議会(1) | ・広島県食品安全推進協議会(2) |
| ・広島県災害ボランティア支援連絡会議(0) | ・ひろしま地球環境フォーラム(3) |
| ・広島県農業関係施策審査検討会議(1) | ・広島県医療安全推進協議会(0) |
| ・広島県建築物安全安心推進協議会(1) | ・(社)広島県共同募金会配分委員会(4) |
| ・広島県林務関係施設指定管理者選定委員会(0) | ・(財)広島県農林振興センター評議員会(2) |
| | ・中国地方液化石油ガス懇談会(経産省)(1) |

()内は2008年度中の会議開催回数

②他団体との関係では

- ・広島県協同組合連絡協議会(HJC、11団体)主催で、地産地消や食育などについて、愛媛県今治市を視察見学しました(2月)。「中国・四国地区協同組合職員交流セミナー」(協同組合経営研究所主催、広島県協同組合連絡協議会共催)が広島ではじめて開催され、広島県協同組合学校の一環として参加しました(8月)。
- ・広島県労働者福祉協議会が主催する「広島県労働者福祉行政」「消費者被害の対策」などについての学習会に参加しました(1月)。
- ・(財)日本ユニセフ協会広島県支部が主催する諸行事に参加しました(ラブウォーク、ガザ支援緊急募金など)。
- ・「協同労働の協同組合」法(ワーカーズ法)の制定に向けて支援しました。

(6)機関運営や事務局機能の充実強化をはかります。

- ・広報活動の一環であるホームページを充実させました。平和関連では日生協や他県連から高い評価を得ています。
- ・県内連帯を一層促進させるため、討議内容の工夫と効率的運営を重視してきましたが、会員生協の活動についての情報交換不足となり課題を残しました。
- ・生協法の改正にともない会員生協の定款変更などについて広島県との調整を図ってきました。

2. 2008年度 運営組織の概況

(1)機関会議

① 2008 年度通常総会

日 時	2008 年 6 月 3 日 (火) 14 : 45～17 : 00				
場 所	鯉城会館 5F サファイア (広島市中区大手町 1－5－3)				
出席状況	代議員総数 48 名中 出席代議員 44 名 (内委任出席 4 名、書面議決書 8 名)				
来 賓	広島県副知事	城納 一昭	様		
	広島県農業協同組合中央会専務理事	黒木 義昭	様		
	広島県労働者福祉協議会会長	宮地 稔	様		
	広島県消費者団体連絡協議会会長	是佐 恵美子	様		
	日本生活協同組合連合会中四国地連事務局長	人見 昭生	様		
議 長	藤井 孝司 代議員 (日立造船因島生活協同組合)				
議事採択状況					
第 1 号議案	2007 年度活動報告ならびに決算報告・剰余金処分案承認の件 (承認)				
第 2 号議案	2008 年度活動方針ならびに収支予算案決定の件 (決定)				
第 3 号議案	借入金最高限度額決定の件 (決定)				
第 4 号議案	役員選挙の件 (決定)				
第 5 号議案	定款の一部変更の件 (承認)				
第 6 号議案	規約等の一部変更、廃止、設定、承認の件 (承認)				

② 理事会

回	日時・場所	主 な 議 題
第 1 回	6 月 3 日(火) 鯉城会館会議室	(1) 役員改選にともなう 4 役の互選について (2) 代表理事の選任について

第2回	6月26日(木) 県連会議室	(1) 2008年度平和署名（CANT署名、国会請願署名）について、 2008年度平和関連行事について (2) 県連役員改選期の検討について (3) 生協法60周年・第37回広島県生協大会について
第3回	9月11日(木) 県連会議室	(1) 2008年度平和関連行事のまとめと課題について (2) 生協法60周年・第37回広島県生協大会について (3) 県連役員改選期の変更について (4) 2009年新春学習交流会骨子（案）について (5) 県知事表彰の推薦について
第4回	12月2日(火) 県連会議室	(1) 2009年度の平和活動方針（案）について
第5回	2009年 2月19日(木) 県連会議室	(1) 2008年度のまとめと2009年度の方針（案）について（決算見込み・予算案・平和活動方針・主要活動日程含む） (2) 2009ピースアクション in ヒロシマについて
第6回	4月7日(火) 県連会議室	(1) 2008年度のまとめと2009年度の方針（案）について（決算・監査報告・予算案） (2) 2009年度通常総会運営について (3) 2009ピースアクション in ヒロシマについて

③ 組織委員会

回	日時・場所	議 題
第1回	7月4日(金) 県連会議室	(1) 2008年度平和関連行事について (2) 生協法制定60周年・第37回広島県生協大会について
第2回	8月18日(金) 県連会議室	(1) 2008年度平和関連行事のまとめと課題について (2) 生協法制定60周年・第37回広島県生協大会について (3) 2009年新春学習交流会について
第3回	9月26日(金) 県連会議室	(1) 2008年度平和関連行事のまとめと課題について (2) 生協法制定60周年・第37回広島県生協大会について (3) 2009年新春学習交流会について
第4回	12月15日(月) 県連会議室	(1) 2009年度平和の方針（案）について (2) 2009新春・平和のつどい(新春学習交流会)の対応について
第5回	2009年 2月2日(月) 県連会議室	(1) 2009年度の平和活動方針について (2) 2009ピースアクション in ヒロシマについて (3) ピースフォーラムの企画について (4) 2009市民平和行進について
第6回	2009年 4月17日(金) 県連会議室	(1) 2009ピースアクション in ヒロシマについて (2) 2009市民平和行進について (3) 「核兵器禁止条約の早期締結を求める請願」について (4) ピースフォーラムの運営について (5) 平和市長会議との連携について (6) 第38回広島県生協大会について

(2)その他の会議(2008年4月～2009年3月)

① 県連関係

4月	4日	金	第2回 2008ピースアクション in ヒロシマ実行委員会
4月	9日	金	第1回くらし・消費者委員会（～2月まで全12回）
4月	11日	金	2007年度監査
4月	17日	木	2008市民平和行進第1回中央推進委員会
4月	28日	月	2007年度第5回福祉事業推進協議会
5月	7日	水	2007年度第6回食の安全委員会
8月	1日	金	2008年度第1回食の安全委員会（～1月まで全4回）
8月	4日	月	第3回 2008ピースアクション in ヒロシマ実行委員会

8月	18日	月	市民平和行進 2008 第2回中央推進委員会
8月	22日	金	第1回福祉事業推進協議会
9月	11日	木	第4回 2008 ピースアクション in ヒロシマ実行委員会
10月	14日	火	2008 年度上期監査
10月	27日	月	第2回福祉事業推進協議会
12月	2日	火	第1回 2009 ピースアクション in ヒロシマ実行委員会
12月	4日	木	第3回福祉事業推進協議会、福祉事業推進協議会 広島県との懇談会

② 会員生協関係（総代会、その他主要行事）

5月	22日	木	グリーンコープひろしま第16期総代会
5月	22日	木	広島県住宅生協第47期通常総代会
5月	24日	土	竹原生協第45回通常総代会
5月	25日	日	広島中央保健生協第53回通常総代会
5月	25日	日	広島医療生協第47回通常総代会
5月	25日	日	広島大学消費生協第38回通常総代会
5月	30日	金	広島県学校生協第55回通常総代会
5月	30日	金	日立造船因島生協第60回通常総代会
5月	30日	金	広島修道大学生協第49回通常総代会
5月	31日	土	広島県高等学校生協第53回通常総代会
5月	31日	土	福山医療生協第28回通常総代会
6月	4日	水	生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合第3回通常総会
6月	6日	金	生協ひろしま第24回通常総代会
7月	30日	水	広島県労働者共済生協第50回通常総代会
8月	26日	火	折りづるナイター（生協ひろしま）
10月	12日	日	グリーンコープ in 福山・子育て講演会（グリーンコープひろしま）
11月	9日	日	ユニセフ・ラブウォーク in 因島（日立造船因島生協）
11月	3日	月	全労済サンクスフェスター創立50周年記念（広島県労済生協）
	30日	日	*広島会場 11月3日、福山会場 30日
12月	12日	金	学校生協設立60周年祝賀会（広島県学校生協）
3月	14日	土	たべる、たいせつフェスティバル（生協ひろしま）

③ 日生協関係

4月	2日	水	中四国地連地区別代議員会議、中四国地連 2007 年度第5回運営委員会
6月	12日	木	日生協 第58回 通常総会（～13日）
7月	17日	木	中四国地連 第1回運営委員会、中四国地連 CO-OP 冷凍餃子問題報告会
7月	23日	水	日生協 第1回全国県連責任者会議
7月	31日	木	中四国地連 第1回県連・組織担当者協議会
8月	2日	火	中国四国生協・行政合同会議
9月	19日	金	日生協 生計費調査の今後を考える研究会（～12月まで5回）
10月	2日	木	中四国地連 第2回運営委員会
10月	7日	火	日生協 生協福祉トップセミナー
11月	5日	水	中四国地連 福祉助け合い活動フォーラム
11月	11日	火	中四国地連 大規模災害対策連絡会・ぼうさい塾
11月	13日	木	中四国地連 クライシス強化の学習説明会
12月	3日	水	中四国地連 第3回運営委員会
12月	10日	水	日生協 第2回全国県連責任者会議
1月	15日	木	日生協 全国政策討論集会（～16日）
1月	27日	火	中四国地連 商品事故についての説明会・意見交換会
2月	10日	火	中四国地連 第4回運営委員会
2月	28日	土	日生協 ピースアクション・キックオフ集会
2月	18日	水	中四国地連 第3回県連・組織担当者協議会
3月	3日	火	中四国地連 東海・東南海地震想定図上演習
3月	4日	水	中四国地連 大規模災害対策連絡会

④ 行政関係

5月	26日	月	広島県消費者月間講演会
6月	25日	水	広島県地球温暖化防止県民運動連絡会議
7月	11日	金	広島県「広島発・ストップ地球温暖化県民運動」推進会議（～12月まで分科会含め5回）
10月	3日	金	広島県「つくってみようよ！自分の朝ごはん」選考審査会
10月	21日	火	広島県総合防災訓練
11月	10日	月	広島県「地球温暖化防止シンポジウム」
11月	14日	金	消費者団体との懇談会（公正取引委員会）
11月	26日	水	広島県・広島県消費者団体連絡協議会共催事業「消費者のつどい 2008」
11月	27日	木	中国四国農政局 食料自給率向上セミナー「米の利用拡大について考える」in 岡山
11月	30日	日	広島県「ひろしまの森づくりシンポジウム」
12月	12日	金	広島農政事務所 「食の安全・安心に関する勉強会」
1月	20日	火	広島市「韓国大邱市・広島市女性指導者情報交換会」
3月	2日	月	中国運輸局広島運輸支局「第8回広島県タクシー事業適正化推進協議会」

⑤ 他団体関係（総代会、その他主要会議・行事）

4月	1日	火	市民平和行進広島県連絡会
4月	26日	土	くらしと協同の研究所 理事会
5月	10日	土	NPO 法人 消費者ネット広島 総会
5月	11日	土	核兵器廃絶をめざすヒロシマの会 総会
5月	22日	木	広島県労働者福祉協議会 定期総会
5月	24日	土	広島県の男女共同参画をすすめる会 総会
5月	28日	水	広島県原爆被害者団体協議会 総会
6月	13日	金	広島県女性会議評議会
6月	28日	土	くらしと協同の研究所 総会・シンポジウム（～29日）
7月	11日	金	広島県協同組合連絡協議会（HJC）総会
7月	14日	月	広島県消費者団体連絡協議会 総会
7月	17日	木	広島県消費者団体連絡協議会・農林公庫懇談会
7月	22日	火	第6回消費者団体交流会（全国消団連・内閣府共催）
8月	29日	金	HJC 「中国・四国地区協同組合交流セミナー」（～30日）
9月	27日	土	構造計算適合性判定機関監視委員会（～3月まで4回）
10月	4日	土	きょうされん第31回全国大会 in ひろしま
10月	10日	金	国際平和博物館会議（広島平和記念資料館）
10月	15日	水	専攻建築士認定評議会
10月	18日	土	ひろしま「山の日」県民のつどい（～19日）
10月	24日	金	（社）日本建築士会連合会理事会（～3月まで3回）
10月	24日	金	（社）広島消費者協会主催 「消費者問題コンファレンス」
10月	25日	土	ひろしまフードフェスティバル（～26日）
10月	28日	火	JA 広島中央会 「原油・生産資材高騰対策広島県農林漁業者緊急集会」
11月	4日	火	第47回全国消費者大会
11月	16日	日	広島県民ボランティア活動推進会議（Vハートひろしま）県域交流会
11月	23日	日	日本労働者協同組合連合会「いま『協同』を拓く2008全国集会 in 新潟」
12月	11日	木	全国消団連「市町村の消費者行政調査交流会」
12月	14日	日	すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議設立記念大会
12月	20日	土	くらしと協同の研究所 第1回理事会・公開研究報告会
1月	10日	土	くらしと協同の研究所 福祉学習会
1月	20日	火	広島県労働者福祉協議会 2008 セミナー
1月	23日	金	（財）ひろしまこども未来財団「みんなで子育て応援フォーラム」
1月	27日	火	（社）シルバーサービス振興会「第19回健康長寿のまちづくりシンポジウム」
1月	29日	木	広島県統計協会「平成20年度統計利用セミナー」
2月	21日	土	全国消団連「都道府県の消費者行政を考えるシンポジウム 2009」
3月	9日	月	（財）協同組合経営研究所「2009年協同組合研究セミナー」
3月	27日	月	JA 広島中央会 臨時総会

(3) 主な行事(2008 年 4 月～2009 年 3 月)

名 称	2008 年度 初級職員研修会		
開催日	2008 年 4 月 9 日(水) 10:00～18:30	会 場	鯉城会館 5 階パールほか
		参加者	4 会員生協1～3 年目の職員 47 名
開催要領	1. 講演 ①「生協の歴史と生協職員の仕事」(岡村信秀専務理事) ②「医療生協のめざすもの」(東久保浩喜理事(広島中央保健生協専務理事)) ③「組合員の立場から期待すること」(橋野俊子理事(生協ひろしま理事)) 2. 碑めぐり(生協ひろしま碑めぐりガイドの会) 3. グループワークトレーニング 4. 夕食交流会		

名 称	2008 年度 市民平和行進結団式&ピースフォーラム		
開催日	2008 年 5 月 12 日(月) 13:00～15:30	会 場	鯉城会館 5 階パールほか
		参加者	6 会員生協組合員・役職員 73 名、3 他団体 5 名
開催要領	1. 市民平和行進結団式<市民平和行進広島県連絡会主催> ①4 団体代表挨拶 ②2008 年度市民平和行進について(岡村信秀専務理事) 2. ピースフォーラム<広島県生協連主催> ①「2008 年県連平和活動方針」(岡村信秀専務理事) ②朗読「戦争体験と平和への思い」(広島中央保健生協「みんなで健やかな老後を作る会」) ③講演「世界にひろげる広島の心ー核兵器廃絶の願い」 ((財)広島平和文化センター理事長 スティーブン・リーパー氏) *終了後、平和市長会議と合同で街頭署名を実施(メルパルク広島前)		

名 称	コープぼうさい塾「わがまち減災MAPシミュレーション」		
開催日	2008 年 6 月 3 日(火) 10:00～12:30	会 場	鯉城会館 5 階サファイア
		参加者	6 会員生協組合員リーダー・役職員 63 名、 地連 2 名、他県連 2 名、 行政防災担当者:広島県 3 名、広島市 22 名
開催要領	1. 「わがまち減災MAPシミュレーション」について (日本生協連 専務スタッフ震災担当 亀山薫氏) 2. ワークショップ (ちばコープ 理事長スタッフ兼災害担当 水島重光氏) 3. 行政からの情報提供		

名 称	2008 年度 第 1 回リーダー研修会		
開催日	2008 年 6 月 3 日(火) 13:30～14:30	会 場	鯉城会館 5 階サファイア
		参加者	9 会員生協組合員リーダー・役職員 57 名、 地連 2 名、他県連 2 名
開催要領	テーマ:「事業運営上で想定される危機管理」 講演:ちばコープ餃子中毒事故の経緯と発生現場の対応から見たものについて (ちばコープ 理事長スタッフ兼災害担当 水島重光氏)		

名 称	ユニセフ学習会		
開催日	2008 年 7 月 25 日(金) 10:00～12:00	会 場	広島平和文化センター 研修室
		参加者	2 会員生協組合員・役職員 7 名、 他団体((財)日本ユニセフ協会広島県支部関係) 15 名
開催要領	「ユニセフすごろく」運営のための事前学習会 ((財)日本ユニセフ協会広島県支部事務局長 山本真左美氏)		

名 称	2008 市民平和行進		
開催日	2008 年 7 月 26 日(土)、 27 日(日)、28 日(月)、 8 月 2 日(土)、4 日(月)	参加者	7/26:139 名、7/27:95 名、7/28:108 名、 8/2:153 名、8/4:190 名
開催要領	<市民平和行進広島県連絡会※構成 6 団体 主催> 7/26 西ブロック・大竹市(山口県和木町役場～広島県大竹市・大竹会館) 7/27 東ブロック・因島市(因島総合支所～ポートピアはぶ) 7/28 東ブロック・福山市(福山市役所～福山ウェルサンピア) 8/2 北ブロック・三次市(みよしまちづくりセンター～みよしまちづくりセンター) 8/4 全体・広島市(稲荷橋西詰～平和公園)、<集結集会>①主催者挨拶(広島県被団協理事長 坪井直氏、富田巖広島県生協連会長理事)、②広島市長メッセージ代読(市民局長 島本登夫氏)、③平和のメッセージ(中谷遥さん・5 年生) * 構成 6 団体 : 広島県原爆被害者団体協議会 ・ 広島県原爆被害者団体協議会 広島県地域女性団体連絡協議会 ・ 広島県青年連合会 広島県宗教者 NGO 協議会 ・ 広島県生活協同組合連合会		

名 称	ピースアクションinヒロシマ 分科会		
開催日	2008 年 8 月 4 日(月)～ 6 日(水)	会 場	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 広島市まちづくり市民交流プラザ 広島県立総合体育館 会議室 ほか
		参加者	全国生協組合員・役職員 805 名
開催要領	「被爆の証言」「碑めぐり」「サダコと折り鶴の話」「親子で考えるピースフォーラム」など 計 12 分科会		

名 称	ピースアクションinヒロシマ 虹のひろば		
開催日	2008 年 8 月 5 日(火) 13:30～16:30	会 場	広島県立総合体育館 グリーンアリーナ
		参加者	11 会員生協組合員・役職員 484 名、 全国 48 生協組合員・役職員 528 名、 他団体 37 名、日生協役職員 24 名(計 1,073 名)
開催要領	<第 1 部 虹のステージ> ①オープニング演奏 ②主催者挨拶(品川尚志日生協専務理事) ③広島市長ご挨拶(広島市長 秋葉忠利氏) ④被爆の証言(早坂暁氏) ⑤合唱(虹のひろば合唱団) <第 2 部 みんなのひろば> 出展ブースコーナー(30 生協・団体)、主催者企画 6 コーナー(子どもが描く平和の絵、ユニセフすごろく、2020 ビジョン、うたごえ、今の思いを手紙で伝えよう、アニメビデオ上映)		

名 称	生協法制定 60 周年 第 37 回広島県生協大会		
開催日	2008 年 10 月 22 日(水)	会 場	メルパルク広島 6階平成の間
		参加者	11 会員生協組合員・役職員 177 名 ご来賓・友誼団体 20 名
開催要領	<ご来賓>広島県知事 藤田雄山氏、広島市市民局長 島本登夫氏、 JA広島中央会専務理事 岸房康行氏、広島県消費者団体連絡協議会会長 是佐恵美子氏、 広島県労働者福祉協議会事務局長 古瀬順史氏、日生協中四国地連事務局長 人見昭生氏 1. 式典 ①主催者挨拶(富田巖会長理事) ②来賓祝辞・来賓紹介 2. 県知事表彰 斎藤 紀 氏(広島中央保健生協 福島生協病院名誉院長) 原田弘子氏(生協ひろしま コープサービス株式会社常務取締役) 柏原直行氏(日立造船因島生協 常務理事) 小島 明 氏(広島県民共済生協理事長) 3. 活動報告 ①広島医療生活協同組合「地域での防災・減災のとりくみ」		

	②生協ひろしま「子育て支援活動『ちびっこひろば』のとりくみ」 4. 記念講演 「つながりづくりと協同組合」(上掛利博氏(京都府立大学教授))
--	---

名 称	2009新春・平和のつどい		
開催日	2009 年 1 月 8 日(水) 10:00～12:00	会 場	広島平和記念資料館 メモリアルホール
		参加者	11 会員生協 246 名、 地連・県外生協 26 名、他団体 15 名
開催要領	1. 主催者挨拶(富田巖会長理事) 2. メッセージ 坪井 直 氏(広島県被団協理事長) 池田京子氏(東京都生協連平和活動担当者連絡会員) 3. 活動報告 伊藤信子広島県生協連組織委員 4. 講演「核兵器のない平和な世界めざして～21世紀は市民の力で問題を解決できる時代」 (広島市長 秋葉忠利氏) 5. 平和の歌・全員合唱 (リード:生協ひろしま虹のコーラス)		

名 称	第 3 回生協福祉学習交流会		
開催日	2009 年 1 月 8 日(水) 10:00～12:00	会 場	広島市まちづくり市民交流プラザ 研修室
		参加者	3 会員生協の福祉関係職員 91 名
開催要領	<県連 福祉事業推進協議会主催> 1. 講演「ストレスを和らげる人間関係」(福岡県立大学人間社会学部教授 上野行良氏) 2. 分散交流会～職種別グループで意見交流～ 3. まとめ・閉会挨拶(坂本裕 県連福祉事業推進協議会代表)		

(4)専門委員会の主な活動

【食の安全委員会】

①学習活動

動脈硬化や高脂血症の予防、高血圧のメニューについて学習し、栄養や献立の立て方についても学びました。また、遺伝子組み換え食品の安全性について学習会参加者を講師に学びました。

②広島県消費者団体連絡協議会実施の「意識調査」への参画

広島県生協連として約 240 人分を集約。そのなかで、国内の食料自給率(約 39%)について正解したのは約 50%、フードマイレージという言葉を知っていたのは 38.2%でした。

③広島県と広島県消費者団体連絡協議会実施の「食の安全ウォッチング活動」への参画

今年度は豆腐と漬物について、原材料・原産地など 8 項目について表示がきちんとされているか調査し、広島県に報告しました。



<食の安全ウォッチング>

【くらし・消費者委員会】

①『家計簿通信』の発行(2ヶ月に1回)

②家計簿データの分析

2008 年は、ガソリン代や食料品の値上げ等、家計に厳しい 1 年でした。また、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した金融商品の値下がり、老後資金の蓄えにと備えていた世帯には大きな打撃となりました。

子育て世代の年間の消費支出で大きな部分を占めているのは『住居費』『食費』『教

育費』で、3 つを合計すると消費支出の半分近くを占めています。一方、子育てや住宅ローン支払いを終えた 60 歳以上の世帯では、『食費』『交際費』『教養娯楽費』が支出の上位を占めています。

③税・社会保険料調べ

日生協実施の年間「税・社会保険料調べ」に連動し、当委員会も、県内モニター(約 250 世帯)を対象に毎年調査を実施しています。2008 年度は 85 世帯(平均年令 47.6 歳・平均家族数 3.9 人・平均年収 781.4 万円)の協力がありました。

消費税の平均負担額は、年間 18.4 万円で年収の 2.4%でした。400 万円未満の世帯では消費税負担が収入の 3.8%を占めていますが、600 万円以上の世帯では 2.2%と相変わらず低所得者層にとって逆進性の構造が顕著です。

税金(所得税、住民税、固定資産税)と社会保険料を合わせた非消費支出が年収に占める割合は 17.4%でした。これに消費税を加えると、約 2 割が公的負担ということになります。

(5)ネットワーク

① 消費者団体としての活動

【「NPO 法人消費者ネット広島」への支援】

県連では、「NPO 法人消費者ネット広島」(以下、消費者ネット広島)を、前身組織(消費者契約法を考える市民ネットワーク・広島)の立ち上げから支援し、10 年目を迎えます。(団体会員として参画、事務局長：岡村信秀専務理事。)

消費者ネット広島は、2008 年 1 月 29 日、「適格消費者団体」に認定を受けました(内閣府)。これにより、「差止請求権」が付与され、法的権限を背景に事業者の不当な(契約・勧誘)行為に対する業務改善の申入れが可能となりました。既に、カルチャースクールへの申し入れ(「授業料は返還しない」規定について)を行い、約款の改善につながるなど、一定の成果をあげています。

行政との連携も更に強まり、広報紙での紹介(広島県・広島市)、パンフレット作成(広島県)や被害情報収集を行なう「110 番活動」への支援(広島市)等を受けています。また、消費者行政活性化基金(2009 年度より 3 年間)活用について、広島県からの打診を受けているところです。

今後の課題としては、財源不足の解消、消費者に存在や意義を知っていただき、被害情報をご提供いただくための働きかけが重要です。

<消費者ネット広島の主な活動>

活 動	日時・場所
適格消費者団体認定記念セミナー 「安心して契約できる社会をめざして～消費者と行政と事業者の連携を模索して～」	2008.5.10(土) 広島 YMCA コンベンションホール
広島県との意見交換会	2008.9.4 (木) 広島県庁 会議室
消費者セミナー「景品表示法ってなあ～に？」	2009.1.28(水)広島市まちづくり市民交流プラザ
街頭署名「消費者行政の一元化を推進する新組織の実現を求める請願署名」	2008.11.20(木) 紙屋町附近
不当勧誘 110 番	2008.12.11(木)広島市消費生活センター
「地方の消費者行政の抜本的拡充を求める意見書」採択の要請(広島県議会・市町議会)	2008 年 9 月～ * 市町議会要請は、消費者ネット広島、県生協連、広島県消団連の連名
内閣府への提言－消費者団体訴訟制度への損害賠償請求権盛り込み要請等	随時(内閣府アンケートへの回答等を通じて) * 全国の適格消費者団体と連携して

【「広島県消費者団体連絡協議会」への参画】

県連では、広島県消費者団体連絡協議会（以下、広島県消団連）の事務局を担い、広島県ならびに県内の消費者団体と連携し、消費者運動の推進に努めています。（団体会員として加盟、事務局長：岡村信秀専務理事。）

＜広島県消団連の主な活動＞

活 動	日時・場所
意識調査「食の安全と環境について」（1,104 人）	2008 年 8～9 月
「消費者のつどい 2008」 広島県・広島県消団連主催、参加者 180 人（内県連連関係 50 名） ①消費者団体活動報告 ・広島県生協連「小さなエコ、取り組んでいます」 （桜井陽子 県連コープアドバイザー） ・広島県消団連の意識調査報告（羽倉幸子 呉市消費者協議会会長） ②記念講演「食の安全情報を読み解く」（科学ライター 松永和紀氏）	2008.11.26(水) 鯉城会館 5 階サファイア
「食の安全ウォッチング活動」 ～広島県「食品の安全に関する推進プラン」の一環として～	2008 年 12 月

② 協同組合間連携

【「広島県協同組合連絡協議会」(HJC)への参画】

県連は、HJC(JA・生協・漁協・森林組合など県内 11 の協同組合で構成)の会員として、自然と調和した人に優しい地域社会づくりをめざし、他の協同組合と連携して取り組んでいます(副会長:富田巖会長理事、代表幹事:岡村信秀専務理事)。

HJCでは 2008 年度、「中国・四国地区協同組合職員交流セミナー」(協同組合経営研究所主催)を共催し、生協の組合員リーダー・役職員も多数参加しました。また、交流セミナーの報告を機に、愛媛県の産直所等の視察研修も行い、「作り・売り・サービスする農業」「消費者との交流や食と農の体験活動」など、先進事例を学びました。

③ 安全・安心な住まいづくりと森林保全を考える活動

【「住まいのセミナー」の開催】

消費者自身が安全・安心な住まいづくりと森林保全について学ぶ場として、標記セミナーを、「木の香る住宅工房」とともに主催し、10 年を迎えました。(①7/26、②8/23 野外、③9/25、④10/25 野外、⑤11/22 全 5 回)

2008 年度は、生協組合員から事前ヒアリングを行い、屋内セミナーでは、「長耐久の木の住まい」、マンション等の「木の住まいへの改修」などをテーマに、建主さんや施工者にも登場してもらいながら、木の香る住宅工房のメンバーが講師を務め、実施しました。また、野外セミナーでは、工場や大工の技の見学、木の素材に触れる体験、樹齢 80 年を越すひのきの伐採見学や、「工房の森」での植林や下草刈り体験等を行いました。



＜住まいのセミナー＞
各種木材に触れる木工体験

④ 世界の子どもたちの支援、平和の活動

【「(財)日本ユニセフ協会広島県支部」との連携・協力】

県連では、(財)日本ユニセフ協会広島県支部を、2006 年の立ち上げ時から支援しています。団体会員としての協力のほか、富田会長理事が(財)日本ユニセフ協会広島県支部の専務理事も務めています。

活動としては、ピースアクションinヒロシマでの取り組みの連携、会員生協への情報提供など、ユニセフ活動の推進に努めています。

【「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」(HANWA)への参画】

県連では、1999 年の HANWA 立ち上げ時より、連絡・会計事務局を担っています。HANWA は、行政や県内・国内諸団体との連携を重視した活動を進め、国内および世界の平和 NGO の中心的存在として、核兵器廃絶運動を進めています。(運営委員:富田巖会長理事、岡村信秀専務理事)

2008 年度は ICNND (「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」、事務局:外務省・豪外貿省)より国内 NGO と意見交換をしたいとの要請を受け、「ICNND 日本 NGO 市民連絡会」が立ち上がり、その共同代表を森瀧春子共同代表が務め、HANWA として政府に積極的に働きかけるなど、2010 年の NPT 再検討会議に向け、例年に増して活発な活動を展開しています。

活 動	日時・場所
講演会「ウラン兵器廃絶への挑戦～世界初の禁止法を成立させたベルギー国会議員を迎えて～」(共催:NO DU (劣化ウラン禁止)ヒロシマ・プロジェクト、後援:(財)広島平和文化センター)	2008.5.6 (火) 広島平和記念資料館 会議室 I
総会記念シンポジウム「核廃絶をめぐる内外の情勢と今後の展望」(後援:(財)広島平和文化センター)	2008.5.11 (日) 広島平和記念資料館 会議室 I
8・6 ヒロシマ国際対話集会・反核の夕べ 2008「今こそ NGO の出番だ!～地雷・クラスター・DU そして核兵器～」(後援:広島市)	2008.8.6 (水) 広島市まちづくり市民交流プラザ 研修室
9.2 G 8 下院議長サミットに対して「核兵器廃絶フォーラム～ヒロシマは核保有国の責任を問う～」	2008.9.2 (火) アステールプラザ 多目的スタジオ
シンポジウム「非人道的兵器禁止と日本の役割～クラスター・劣化ウラン・核兵器廃絶に向けて～」(共催:JCBL (地雷廃絶日本キャンペーン)、NO DU ヒロシマ・プロジェクト、後援:広島市、(財)広島平和文化センター)	2008.11.16 (日) 広島平和記念資料館 会議室 I

3. 2008年度 会員生協の概況

(1) 会員名簿

生 協 名	住 所	代表者名
広島県学校生活協同組合	広島市東区光町2丁目8-32	研本正明
広島県高等学校生活協同組合	広島市中区平野町8-15	有田 耕
生活協同組合ひろしま	廿日市市大野原1丁目2-10(大野事務所)	林 辰也
広島大学消費生活協同組合	東広島市鏡山1-4-5 広島大学会館内	田中秀樹
広島修道大学生活協同組合	広島市安佐南区大塚東1丁目1-1	針持和郎
広島中央保健生活協同組合	広島市西区都町42-7	吉富啓一郎
広島医療生活協同組合	広島市安佐南区中須2丁目19-6	尾野展昭
福山医療生活協同組合	福山市木之庄町3丁目6-10	服部融憲
日立造船因島生活協同組合	尾道市因島田熊町4508-1	岡野龍広
竹原生活協同組合	竹原市中央1丁目9-11	武田孝治
グリーンコープ生活協同組合ひろしま	広島市安佐南区緑井1丁目28-47	林 和子
広島県労働者共済生活協同組合	広島市東区曙4-1-28	小田一幸
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合	廿日市市大野原1丁目2-10	三橋幸夫
広島県住宅生活協同組合	広島市南区比治山町2-5	小川正継

* 三良坂生活協同組合 1995年より休止

(2) 会員の概況

2009年3月31日現在

会 員 生 協	組 合 員 数 (人)	前 年 比 (%)	事 業 高 (千円)	前 年 比 (%)	出 資 金 (千円)
地域購買生協(4)	407,079	102.4	52,123,557	99.7	13,569,459
学校・高校生協(2)	25,918	99.8	1,751,524	88.0	652,373
大学生協(2)	28,433	105.8	4,183,696	101.2	350,947
購買生協合計	461,430	102.5	58,059,050	99.4	14,572,779
医療生協(3)	91,758	102.0	10,011,471	102.7	2,302,767
労済生協	380,832	102.0	—	—	2,593,167
住宅生協	6,263	98.2	2,388,089	97.7	62,630
合 計	940,283	102.2	70,458,610	99.8	19,531,343

※広島県労済生協の組合員、出資金は2008年5月現在の数値です。

※コープ CS ネット 会員数(9 会員)、事業高(77,934,401 千円)、出資金(961,000 千円)

4. 2008年度 役員および職員の状況

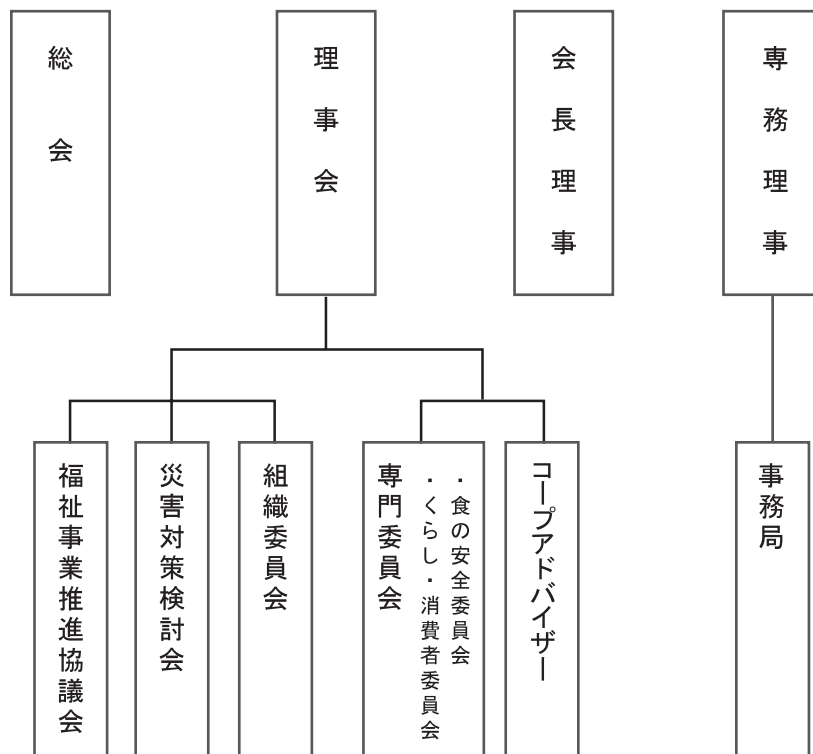
(1) 役員一覧

県連役職	名 前	所属生協・役職等
会長理事	富 田 巖	生活協同組合ひろしま特別顧問
副会長理事	田頭 俊彦	日立造船因島生活協同組合顧問
専務理事	岡村 信秀	(常 勤)
常務理事	坂 本 裕	広島医療生活協同組合専務理事
常務理事	高井 章平	広島県労働者共済生活協同組合専務理事
常務理事	土井 律紀	生活協同組合ひろしま副理事長
常務理事	仁田 祥男	広島県高等学校生活協同組合専務理事
理 事	宇田川和代	広島医療生活協同組合副理事長
理 事	神尾 容子	日立造船因島生活協同組合理事
理 事	竹内 佳代	生活協同組合ひろしま理事
理 事	武田 孝治	竹原生活協同組合理事長
理 事	田中 嘉市	広島修道大学生生活協同組合専務理事
理 事	東久保浩喜	広島中央保健生活協同組合専務理事
理 事	難波 隆宏	広島県学校生活協同組合専務理事
理 事	野村 文孝	グリーンコープ生活協同組合ひろしま常務理事
理 事	橋野 俊子	生活協同組合ひろしま理事
理 事	松 山 智	福山医療生活協同組合専務理事
理 事	吉山 功一	広島大学消費生活協同組合常務理事
監 事	榎 敬 公	広島県住宅生活協同組合専務理事
監 事	大越 和郎	広島中央保健生活協同組合副理事長
監 事	金 井 保	生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合常務理事
顧 問	中 郷 勲	*前 広島県生活協同組合連合会会長理事

(2) 職員の状況(2009 年 3 月 31 日現在)

区分	前年度末数	当期末数
正規職員数	2 人 (休職 1 名含む)	2 人
定時職員数	2 人	2 人

5. 運営組織



6. 2008年度 広島県預託融資、委託金

(1) 預託融資

設備資金(年利率2.5%)	30,000,000円(1生協利用)
運転資金(年利率2.2%)	90,000,000円(3生協利用)

(2) 役職員研修及び経営指導事業委託金

61,000円

7. 2008年度 決算報告

(1)貸借対照表

2009年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
i. 流動資産		iii. 流動負債	
現金	11,955	未払費用	286,666
普通預金	10,556,512	未払金	83,100
定期預金	22,924,381	流動負債合計	369,766
未収金	70,000	iv. 固定負債	
		役職員退職引当金	7,515,000
		固定負債合計	7,515,000
流動資産合計	33,562,848	負債合計	7,884,766
		v. 出資金	
		会員出資金	26,028,000
ii. 固定資産		vi. 法定準備金	
1. 無形固定資産		法定準備金	170,000
		vii. 剰余金	
無形固定資産合計	0	当期末処分剰余金	
2. その他固定資産		繰越剰余金	175,801
関係団体出資金	890,000	当期剰余金	194,281
その他固定資産合計	890,000	剰余金合計	370,082
固定資産合計	890,000	純資産合計	26,568,082
資産合計	34,452,848	負債・純資産合計	34,452,848

(2)損益計算書

2008年4月1日～2009年3月31日

(単位:円)

科目	金額	2007年度	2006年度
会費及び委託料・雑収入			
普通会費	35,863,940	37,146,000	36,582,000
委託料	61,000	61,000	61,000
雑収入	425,971	347,059	39,774
収入合計	36,350,911	37,554,059	36,682,774
管理費及び諸経費			
人件費	21,405,839	20,984,529	20,811,638
物件費	14,750,791	17,041,416	15,518,135
経費合計	36,156,630	38,025,945	36,329,773
特別損失	0	0	0
固定資産除去損	0	218,391	0
特別損失合計	0	218,391	0
当期剰余金	194,281	-690,277	353,001
前期繰越剰余金	175,801	866,078	563,077
当期末処分剰余金	370,082	175,801	916,078

(3) 附属明細書

① 資産内訳書

(単位: 円)

科 目	摘 要	金 額	2007年度	2006年度
現 金	2009年3月31日現在手持金	11,955	22,559	6,777
普 通 預 金	中国労働金庫 本店 (No.2212901) 8,677,855 広島銀行 三川町支店 (No.0244953) 1,878,657	10,556,512	18,592,655	18,703,362
定 期 預 金	中国労働金庫 本店 (No.2051237) 6,640,948 〃 (No.3965510) 2,017,355 〃 (No.4585888) 10,000,000 広島銀行 広島駅北口支店 (No.3005859) 1,129,659 〃 (No.3005867) 1,116,225 〃 (No.3005875) 1,011,108 〃 (No.3005883) 1,009,086	22,924,381	—	—
未 収 金	広島県委託料 61,000 県連会費 未収金 9,000	70,000	61,000	61,000
仮 払 金	0	0	26,580	0
電 話 加 入 権	0	0	0	218,391
関係団体出資金	日本生協連 690,000 賀川記念全国生協教育基金協会 70,000 中国労働金庫 130,000	890,000	890,000	890,000
合 計		34,452,848	32,475,467	32,741,584

② 負債・純資産内訳書

(単位: 円)

科 目	摘 要	金 額	2007年度	2006年度
未 払 費 用	職員給与3月分未払金	286,666	286,666	392,506
未 払 金	広報紙	83,100	0	0
役職員退職引当金	役員の退職慰労引当分、職員の退職引当分	7,515,000	5,815,000	5,315,000
会 員 出 資 金	基本出資金 (15会員) 801,000 日生協会館出資金 (5会員) 300,000 コープ支援出資金 (9会員) 1,164,000 連帯出資金 (10会員) 23,763,000	26,028,000	26,028,000	25,998,000
法 定 準 備 金		170,000	170,000	120,000
剰 余 金		370,082	175,801	916,078
合 計		34,452,848	32,475,467	32,741,584

③ 2008年度収入及び諸経費明細

<収入の部>

(単位:円)

	2008年度計画	2008年度実績	計画比	前年比	2007年度	2006年度
前期繰越金	175,801	175,801	—	20.3%	866,078	563,077
普通会費	38,085,600	35,863,940	94.2%	96.5%	37,146,000	36,582,000
委託料	61,000	61,000	100.0%	100.0%	61,000	61,000
雑収入	381,599	425,971	111.6%	122.7%	347,059	39,774
合 計	38,704,000	36,526,712	94.4%	95.1%	38,420,137	37,245,851

<支出の部>

(単位:円)

科 目	2008年度計画	2008年度実績	計画比	前年比	2007年度	2006年度
役員報酬	11,400,000	11,400,000	100.0%	100.0%	11,400,000	10,800,000
職員給与	6,200,000	6,023,020	97.1%	92.7%	6,498,176	6,370,900
退職給与	100,000	110,000	110.0%	129.4%	85,000	110,000
福利厚生費	2,500,000	2,172,819	86.9%	86.9%	2,501,353	2,680,738
退職引当繰入額	850,000	1,700,000	200.0%	340.0%	500,000	850,000
人件費計	21,050,000	21,405,839	101.7%	102.0%	20,984,529	20,811,638
教育文化費	3,960,000	4,354,773	110.0%	119.7%	3,637,693	3,712,160
広報費	350,000	249,300	71.2%	122.5%	203,450	708,462
消耗品費	850,000	1,029,936	121.2%	95.5%	1,078,936	1,244,051
地代家賃	2,520,000	2,520,000	100.0%	100.0%	2,520,000	2,520,000
水道光熱費	480,000	389,004	81.0%	113.2%	343,585	202,973
リース料	390,000	387,198	99.3%	89.1%	434,448	537,768
調査研究費	300,000	305,082	101.7%	93.7%	325,611	274,060
会議費	1,800,000	1,664,638	92.5%	92.9%	1,792,269	1,835,486
諸会費	658,000	658,000	100.0%	100.0%	658,000	563,000
渉外費	180,000	235,490	130.8%	141.9%	166,000	194,470
租税公課	400,000	366,500	91.6%	49.5%	740,600	702,200
通信費	900,000	983,221	109.2%	109.6%	896,843	1,121,411
旅費交通費	1,800,000	1,441,753	80.1%	81.2%	1,774,499	1,816,777
雑費	100,000	165,896	165.9%	10.4%	1,592,187	85,317
物件費計	14,688,000	14,750,791	100.4%	91.3%	16,164,121	15,518,135
40周年記念事業費	—	—	—	—	877,295	—
予備費	2,966,000	—	—	—	—	—
経費合計	38,704,000	36,156,630	93.4%	95.1%	38,025,945	36,329,773
固定資産除却損	—	—	—	—	218,391	—
法定準備金	—	—			—	50,000
次期繰越金	—	370,082			175,801	866,078
合 計	38,704,000	36,526,712	94.4%	95.1%	38,420,137	37,245,851

※科目説明

- ・退職引当金繰入額・・・常勤役職員の不足分追加積立て
- ・教育文化費・・・平和活動参加の大幅増加
- ・消耗品費・・・プロジェクター購入等

- ・渉外費・・・慶弔等
- ・雑費・・・県知事表彰副賞他

8. 2008年度 剰余金処分(案)

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	
(1) 前期繰越剰余金	175,801
(2) 当期剰余金	194,281
計	370,082
2. 剰余金処分数額	
(1) 法定準備金	30,000
3. 次期繰越剰余金	340,082

上記のとおり提案致します。

会 長 理 事 富 田 巖
 副会長理事 田 頭 俊彦
 専 務 理 事 岡 村 信秀
 常 務 理 事 坂 本 裕
 常 務 理 事 高 井 章平
 常 務 理 事 土 井 律紀
 常 務 理 事 仁 田 祥男

理 事 宇田川和代
 理 事 神 尾 容子
 理 事 竹 内 佳代
 理 事 武 田 孝治
 理 事 田 中 嘉市
 理 事 東久保浩喜
 理 事 難 波 隆宏
 理 事 野 村 文孝
 理 事 橋 野 俊子
 理 事 松 山 智
 理 事 吉 山 功一

9. 監査報告

監査報告書

1. 実施年月日 第1回 2008年10月14日（火）
 第2回 2009年 4月 6日（月）
2. 実施場所 県連事務所
3. 立会人 専務理事 岡村信秀 職員 正岡尚子
4. 監査結果

私たちは、広島県生活協同組合連合会、2008年度事業報告書、決算関係書類(貸借対照表、損益計算書、附属明細書、剰余金処分案)を受領し、活動及び決算について、岡村専務理事より説明を受け、理事の業務執行状況について監査を行ないました。その結果、業務は適切に執行され、貸借対照表、損益計算書、附属明細書については、法令及び定款に従って公正妥当に処理され、損益及び財産の状況を正しく示していることを認めます。剰余金処分案については、法令及び定款に適合しているものと認めます。

5. 監査意見

会員出資金は、現在、基本出資金(15 会員)、日生協会館出資金（5 会員）、コープ支援出資金(9 会員)、連帯出資金（10 会員）の4 分類と複雑化し、わかりづらくなっています。今後は、可能な範囲で適切な見直しが望まれます。

2009年4月 6日

監事 大越 和郎



監事 金井 保



監事 榎 敬 公



【第 2 号議案】

2009 年度活動方針ならびに収支予算案決定の件

はじめに

- ・ 100年に一度と言われている世界的金融・経済危機に見舞われ、日本経済は、輸出・個人消費・設備投資の減速から、景気や雇用環境は急速に悪化しつつあります。広島県の経済も好況を牽引してきた自動車・工作機械・電子機器・鉄鋼等の減速から、厳しい先行きが予測され、雇用不安が広がってきています。所得の低下、将来不安などにより消費低迷の加速化が懸念され、労働市場の規制緩和によるワーキングプアが急増し、格差と貧困が拡大しつつあります。将来不安を払拭し格差社会の是正には社会保障制度の拡充が不可欠です。
- ・ 医療費の負担増は診療抑制を増加させ、健康を脅かしています。また、高齢者を差別すると言われている「後期高齢者医療制度」は、廃止も含め抜本的な改正が求められています。高齢化が進行する中、介護保険の適切な見直しと地域での福祉のネットワークが課題です。
- ・ 消費税増税が取りざたされていますが、消費税は低所得者に負担の割合が重く、公平性に欠けるため、格差が拡大している中、国民的論議が必要です。
- ・ 過疎・高齢化、担い手不足が進む中、食料・農業問題は、深刻化しつつあります。世界の食料危機が叫ばれる現在、地産地消を土台に国内の農業を活性化させ、持続可能な農村の再生と食料自給率の向上をはかり、「食料安全保障」を確立することが緊急の課題です。食品産業や家庭から出てくる年間1000万トンを超える食品残さは、その減量化とリサイクルが求められます。
- ・ 食のグローバル化の中、食の安全・安心を確保するためには、国境を越えた安全管理体制の強化と国内における危機管理体制の再構築と品質管理体系の抜本的な見直しが求められます。とりわけ、国における制度改正・検疫体制の強化などが急がれます。
- ・ 地球温暖化が進行する中、再生可能なエネルギーの開発・導入とライフスタイルの見直しが迫られています。事業レベルでの対応とエコライフの推進、環境税(炭素税)導入など制度の見直しも重要です。
- ・ 消費者被害による経済的損失は約3兆4000億円にのぼり、3人に1人は詐欺などの被害に遭っています(国民白書08年版)。また商品事故や食品偽装事件が相次ぐ中、消費者庁設置関連法案が成立し、地方消費者行政の拡充が次の課題となります。同時に、消費者自身も「消費者力」を高め賢い消費行動が求められます。
- ・ 被爆者の高齢化が進み、核兵器廃絶の早期実現が求められます。平和市長会議への加盟都市は2,800を超え、核兵器廃絶を巡る世界世論は大きなうねりになりつつあります。国内においても、「都市を攻撃目標にするな(CANT)プロジェクト」署名は全国で50万筆を超え、さらに広がっています。引き続き行政や被爆者団体などとの連携を強め運動の輪を広げることが重要です。
- ・ 近年大規模自然災害が急増しています。行政との連携を推進させると同時に生協独自の防災・減災の取り組みと地域における自主防災会などとの連携が重要です。また被害や犠牲を最小限に押さえるため、住宅の耐震化も必要です。
- ・ 経済や暮らしが厳しい中、小売業間の競争(価格、PB開発など)の激化、小売業や食品業界再編の加速化などを背景に、益々厳しい経営環境が予測されます。協同組合の原点に立ち返り、事業経営の構造改革と連帯強化が重要です。
- ・ 生協法が改正されました。改正生協法にもとづいたガバナンス(運営)の確立が求められます。

1. 2009年度の重点課題

1. 会員生協の経営基盤強化と連帯活動を推進します。
2. 食の安全やくらしの安心にかかわる諸課題に取り組みます。
3. 平和の確立と核兵器廃絶の取り組みを推進します。
4. 大規模自然災害対策のシステムづくりに取り組みます。
5. 行政や諸団体との連携を強め、安心してくらしやすい地域社会づくりに貢献します。
6. 機関運営や事務局機能の充実強化をはかります。

(1) 会員生協の経営基盤強化と連帯活動を推進します。

- ・厳しい経営環境が続く中、自己革新と経営構造改革が急がれます。購買生協は、日生協や事業連合への結集と県内連帯を促進させます。経営不振生協への経営指導を強化します。
- ・医療生協間連携の促進と制度の改善に努力します。また、支部活動など、組合員参加の活性化に努めます。
- ・介護保険の制度改善と、県連「福祉事業推進協議会」を軸にした県内連帯活動を推進していきます。
- ・組合員リーダーや職員の力量アップのためのリーダー研修会を年2回(6月、1月)、初級職員研修会を年1回(4月)開催します。
- ・広島県預託金融制度の充実と効率的運用をはかります。

(2) 食の安全やくらしの安心にかかわる諸課題に取り組みます。

① 食の安全に取り組みます。

- ・食の安全・安心にかかわる学習会を開催します。
- ・広島県や広島県協同組合連絡協議会との連携を強化し、食料自給率向上や持続可能な農業・農村問題について検討していきます。
- ・食育や食品残さについての学習と実践活動を推進します。

② 消費者政策を行政や諸団体と連携し推進します。

- ・県内各地で、諸団体と連携し、「消費者力向上」をはじめ啓発活動を展開します。
- ・NPO法人消費者ネット広島と連携し、消費者被害の未然防止や学習活動を全県で展開します。
- ・行政(市町の消費生活センター含む)や各消費者団体との連携を強化します。

③ 環境保全と持続可能な地域社会形成のための活動を推進します。

- ・広島県や「ひろしま地球環境フォーラム」などと連携し、地球温暖化防止のための諸活動(省エネ、エコライフなど)を実施します。
- ・事業者としての温室効果ガスの削減に向け、学習会や情報発信など積極的に展開します。
- ・「山の日」県民の集いに会員生協や広島県協同組合連絡協議会と連携し参加します。
- ・「ひろしま森づくり県民税」の活用と成果についての提言活動を実施します。

④ 福祉のネットワークづくりを促進させます。

- ・県連「福祉事業推進協議会」を軸に購買生協と医療生協との連携を促進させます。

- ・定期的な情報交換や研修活動を実施します。
 - ・行政や諸団体とのネットワークを進めます。
- ⑤年金・医療・住まいなどの諸課題に取り組みます。
- ・社会保障制度全般(医療、年金、介護・福祉)についての学習会を実施します。
 - ・広島県と「木の香る住宅工房」と連携し、住まいについての学習会(「住まいのセミナー」)や相談活動を支援します。
 - ・新型インフルエンザについて学習します。

(3) 平和の確立と核兵器廃絶の取り組みを推進します。

- ・平和市長会議が提唱している「核兵器廃絶のための緊急行動」(2020ビジョン)へ結集し、行政や諸団体と連携します。
- ・「都市を攻撃目標にするな(CANT)プロジェクト」署名は、引き続き全国の生協や諸団体に呼びかけ、100万筆を達成します。また、平和市長会議への国内地方自治体の加盟を推進します。
- ・2010年に開催される核拡散防止条約(NPT)条約再検討会議の成功に向け、代表派遣も含め検討します。
- ・県内の平和活動期間を3~10月と設定し、ピースフォーラム、市民平和行進、請願署名、学習会、ピースアクションinヒロシマなど成功させます。
- ・原爆症の認定をめぐるのは、被爆者の実態に即した基準への見直しと原爆症認定集団訴訟への支援活動を継続します。
- ・平和を守る立場から憲法の学習会を実施します。

(4) 大規模自然災害対策のシステムづくりに取り組みます。

- ・県連「災害対策検討会」を軸に県内の連携を強化します。日生協中四国地連管内の各生協と広域連携をすすめます。
- ・広島県との協議や総合防災訓練に積極的に参加します。また、広島県との協定の見直しをはかります。
- ・図上演習(地震発生を想定し減災と復帰の演習)や「わがまち減災Mapシミュレーション」(コープぼうさい塾)の展開と各地での自主防災会との連携を推進します。
- ・住宅の耐震化の広報と学習会を実施します。

(5) 行政や諸団体との連携を強め、安心してくらしやすい地域社会づくりに貢献します。

- ・食の安全、消費者政策、環境、平和、福祉・医療、自然災害などの領域において行政や諸団体と連携し前進させます。
- ・NPO法人消費者ネット広島(内閣府認定適格消費者団体)との連携を強化し「消費者行政活性化基金」の有効活用に貢献します。
- ・(財)日本ユニセフ協会広島県支部との連携を図っていきます。
- ・広島県協同組合連絡協議会(HJC、11団体)と連携し、県内の協同組合間協同の強化と人材育成のための「協同組合学校」を開校します。3年に一度の広島県協同組合大会を開催します(7月)。

- ・広島県消費者団体連絡協議会、広島県労働者福祉協議会、広島県社会福祉協議会をはじめ諸団体との連携を強め、安心してらせる地域社会づくりに貢献します。
- ・公民館への生協活動の理解を深めます。
- ・「協同労働の協同組合」法(ワーカーズ法)の制定に向けて支援します。
- ・2010 年 9 月に広島で開催される「第 19 回全国ボランティアフェスティバルひろしま」(仮称)に積極的に参画していきます。

(6)機関運営や事務局機能の充実強化をはかります。

- ・機関会議をはじめ信頼される組織運営を実現します。
- ・会員生協同士の実践交流の場を促進させ相互に学び合います。
- ・広報活動を強化し生協を広く知らせます。
- ・改正生協法にもとづいたガバナンスの確立を推進します。
- ・行政や議会との関係強化につとめ提案活動を展開します。
- ・各種専門委員会(食の安全、くらし・消費者)は調査活動と提案活動を強めていきます。

2. 2009年度予算

2009年度収支予算(案)

〈収入の部〉

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額	前年比(%)
前 期 繰 越 金	前期からの繰越金	340,082	—
普 通 会 費	会員生協からの普通会費	36,710,400	102.4
委 託 料	広島県からの委託事業費	61,000	100.0
雑 収 入	受取利息など	44,518	10.5
合 計		37,156,000	101.7

〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額	前年比(%)
役 員 報 酬	役員報酬	10,800,000	94.7
職 員 給 与	事務局職員の給与、賞与等	6,200,000	102.9
退 職 給 与	非常勤役員の退任に伴う餞別	100,000	90.9
福 利 厚 生 費	社会保険料、厚生費、通勤費等	2,100,000	96.6
退 職 引 当 繰 入 額	常勤役職員退職時のための引当金	950,000	55.9
人 件 費 計		20,150,000	94.1
教 育 文 化 費	教育・文化活動費等	4,340,000	99.7
広 報 費	会報、パンフなど広報活動費	250,000	100.3
消 耗 品 費	文具など事務消耗品費	800,000	77.7
地 代 家 賃	事務所の賃貸料	2,520,000	100.0
水 道 光 熱 費	事務所の電気代等	385,000	99.0
リ ー ス 料	事務機器のリース代金	390,000	100.7
調 査 研 究 費	書籍の購入費等	295,000	96.7
会 議 費	総会、理事会等費用	1,650,000	99.1
諸 会 費	日生協、他団体などへの会費	658,000	100.0
渉 外 費	慶弔見舞等	200,000	84.9
租 税 公 課	法人税、住民税等	750,000	204.6
通 信 費	電話、切手、宅配料等	985,000	100.2
旅 費 交 通 費	出張費、移動費等	1,400,000	97.1
雑 費	支払手数料等	100,000	60.3
物 件 費 計		14,723,000	99.8
予 備 費		2,283,000	—
合 計		37,156,000	102.8

※科目説明

- ・普通会費…会費基準の改定により減額
- ・雑収入…ユニセフ協会広島県支部の移転により管理費収入が無くなる
- ・租税公課…退職引当金不足分の積み増しによる税額アップ

【第 3 号議案】

役 員 選 任 の 件

1. 理事（定数 18 名）

（1）分野区理事 15 名

（2）全県区理事 3 名

2. 監事（定数 3 名）

【第4号議案】

役 員 報 酬 決 定 の 件

役員に支払う報酬の総額は、理事2名 1,080万円とします。
(監事は報酬無し)

総 会 決 議 （ 案 ）

日本経済は、世界的経済危機と不況の波に大きくのみ込まれ、雇用問題をはじめ国民生活は未曾有の危機に直面しています。また、食の安全・安心については、組合員や消費者の信頼を大きく揺るがす深刻な事案が相次ぎ、信頼回復のため徹底した品質管理と危機管理体制の再構築がせまられます。

一方、暮らしをめぐる状況は、少子高齢化、社会保障制度の後退による将来不安、地球環境の悪化、大規模自然災害の多発など、依然として様々な課題が山積しています。暮らしを起点とした制度の充実や地域での結びつきなど、地域・職域での一丸となった取り組みが求められます。

さらに、本年は、平和の課題について、2010年のNPT(核拡散防止条約)再検討会議開催の前年として、とりわけ重要な年となります。核兵器廃絶の実現に向け、行政・諸団体と連携した取り組みを促進させ、世論を高めていく必要があります。

また、生協法が大幅に改正され、一年が経過します。改正生協法に基づいた組織整備とガバナンスの実行とともに、社会的役割を果たしていくことが一層期待されています。今こそ、生協精神の原点に立ち返り、「平和とよりよき生活」をめざして、組合員の声に耳を澄まし、真に組合員の暮らしに役立つ生協として、また安心して暮らせる平和な地域社会づくりに貢献できる生協をめざして、組合員と役職員の力を結集することが重要です。

私たちは、2009年度通常総会の方針の具体化にあたり、県内生協の協同・連帯を確認し、以下決議いたします。

1. 私たちは、組合員参加と県内連帯を強め、組合員の思いや願いに応える生協活動を推進します。
2. 私たちは、平和、食の安全、医療・福祉、防災、環境、消費者政策など、くらしにかかわる諸課題に積極的に取り組みます。
3. 私たちは、改正生協法にもとづき、地域社会から期待される組織運営を徹底します。
4. 私たちは、地域でのネットワークを大切にし、人と自然にやさしい地域づくりに貢献します。

2009年6月24日

広島県生活協同組合連合会
2009年度 通常総会

2009年度主要活動日程表(案)

広島県生活協同組合連合会

	県 連	日 生 協 他
2009 年 4 月	・7(火)・・・⑥理事会 ・8(水)・・・初級職員研修会 ・17(金)・・・⑥組織委員会	・9(木)・・・ ⑤中四国地連運営委員会・地区別代議員会議 ・16(木)・・・④全国組合員活動委員会
5 月	・25(月)・・・ピースフォーラム	・18(月)～19 日(火)・・・医療部会総会
6 月	・3(水)・・・④常務理事会 ・24(水)・・・2009 年度通常総会 ①理事会、①リーダー研修会	・18(木)～19 日(金)・・・ 日生協第 59 回通常総会
7 月	・8(水)・・・②理事会 ・16(木)・・・①組織委員会 ・25(土)～・・・2009 市民平和行進	・2(木)・・・①全国組合員活動委員会 ・21(火)・・・①中四国地連運営委員会 ・29(水)・・・①全国県連責任者会議
8 月	・4(火)・・・2009 市民平和行進集結 ・4(火)～6(木)・・・ ピースアクションinヒロシマ 分科会 ・5(水)・・・ピースアクションinヒロシマ虹のひろば ・27(木)・・・②組織委員会	・4(火)～6(木)・・・ ピースアクションinヒロシマ 分科会 ・5(水)・・・ピースアクションinヒロシマ虹のひろば
9 月	・4(金)・・・①常務理事会 ・18(金)・・・③理事会	・2(水)・・・中四国生協・行政合同会議 ・17(木)・・・①中四国地連県連協議会
10 月	・2(金)・・・③組織委員会 ・19(月)・・・第 38 回広島県生協大会	・1(木)・・・②中四国地連運営委員会 ・7(水)・・・②全国組合員活動委員会
11 月	・5(木)・・・②常務理事会	・16(月)～20 日(金)・・・ICA 総会(ジュネーブ)
12 月	・8(火)・・・④理事会、 ①ピースアクション実行委員会 ・17(木)・・・④組織委員会	・2(水)・・・③中四国地連運営委員会 ・9(水)・・・②全国県連責任者会議
2010 年 1 月	・7(木)・・・新春学習交流会 ②リーダー研修会	・14(木)～15(金)・・・全国政策討論集会 ・28(木)・・・③全国組合員活動委員会
2 月	・5(金)・・・③常務理事会 ・18(木)・・・⑤理事会 ・26(金)・・・⑤組織委員会	・9(火)・・・④中四国地連運営委員会
3 月		・4(木)・・・②中四国地連県連協議会
4 月	・7(水)・・・初級職員研修会 ・16(金)・・・⑥理事会、 ②ピースアクション実行委員会 ・23(金)・・・⑥組織委員会	・8(木)・・・ ⑤中四国地連運営委員会・地区別代議員会議 ・15(木)・・・全国組合員活動委員会
5 月	・28(金)・・・④常務理事会	・18(火)～19(水)・・・医療部会総会
6 月	・24(木)・・・2010 年度通常総会 ①リーダー研修会	・17(木)～18(金)・・・ 日生協第 60 回通常総会

広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町2丁目6番11号 第7ウエノヤビル5階
TEL 082-532-1300 FAX 082-232-8100